

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 6 月 14 日現在

機関番号：33933
 研究種目：基盤研究（B）
 研究期間：2010～2012
 課題番号：22320010
 研究課題名（和文） デカルト書簡集の全訳プロジェクト

研究課題名（英文） A project of the complete Japanese translation of Descartes' s letters

研究代表者

山田 弘明（YAMADA HIROAKI）

名古屋文理大学・情報文化学部・教授

研究者番号：40106258

研究成果の概要（和文）：17世紀の哲学者デカルトの「往復書簡」の研究は必ずしも十分でない。本研究は、全737通を近年刊行されたイタリア版を中心として邦訳するものである。全8巻のうち第1巻と第5巻はすでに出版され、現在は第2巻以下が準備中である。

研究成果の概要（英文）：This is a project of complete Japanese translation of 737 letters of René Descartes, french philosopher of the 17th century, using a new Italian edition and others. The first and fifth volumes have already been published, and volume 2 and others are now in preparation.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	3,800,000	1,140,000	4,940,000
2011年度	2,400,000	720,000	3,120,000
2012年度	1,900,000	570,000	2,470,000
年度			
年度			
総計	8,100,000	2,430,000	10,530,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：哲学、哲学・倫理学

キーワード：デカルト、往復書簡集、17世紀哲学、数学、医学、機械学、光学

1. 研究開始当初の背景

(1) デカルトの「著作」についての研究はすでに多く存在するが、夥しい「往復書簡」については欧米でも日本でも必ずしも十分に研究されていない。

(2) 往復書簡には、哲学だけでなく数学・物理学・医学などが盛り込まれており、それゆえに文系の研究者にはアクセスしにくいという事情があった。

(3) それゆえ、従来のデカルト研究は書簡を部分的には取り上げるものの、その全体を射程に収めることはなかった。

2. 研究の目的

(1) この欠を埋めるために、現在確認されている「すべて」の往復書簡（737通）について、平易な邦訳を試みることにした。

(2) ここに「すべて」とは網羅的という意味である。数学が話題になる場合は数式や図形を、音楽の場合は音符を、力学が問題である場合は図版を、そのまま訳出した。

(3) 古典の場合、横のものをただ縦にするだけでは意味が通りにくい場合が多い。十七世紀の学問状況を明らかにするために、扱われ

ている問題の意味と背景、登場人物などについて歴史的・文献学的な訳注と解題を加えた。以って日本語で読むだけで、おおよその理解が得られるよう工夫した。

3. 研究の方法

(1) 底本として、最新のイタリア版で最も完成度の高い G. Belgioioso 版 (Bompiani, Milano, 2009) を使用した。最近発見された 2 通については、Erik-Jan Bos の論文を元とした。

(2) 翻訳の態勢として、まず全体を書かれた年代順に 8 つのチームに分けた。これは Adam-Milhaud 版の 8 巻本にならったものである。そして、それぞれに責任者 1 名 (本研究分担者) と数人の翻訳者 (研究協力者) とを割り当てた。

(3) チームごとに連絡を取り合い、作業工程表に従って翻訳を進めるようにした。メールでのやりとり以外に、部会を持つことを推奨した。また毎年、全員が集まる全体会議を開いて意思の疎通をはかった。

(4) 数学や医学などの自然科学系の書簡については、別途、専門の研究者に参画を仰いだ。

(5) フランス語やラテン語の難解な文章や解釈が分かれる箇所については、日本語を解するフランス人研究者に、その都度意見を求めた。

(6) 使用する訳語や用語の整合性には最も神経を使った。地名や人名の表記も統一する必要がある。これらの問題をクリアするために「日本語表記統一のための情報サイト」を作成した。本報告書「5. 主な発表論文等」の [その他] を参照。

(7) 出来あがった翻訳原稿について、各チーム内で相互に何度も読み直し、徹底的に検証して完璧を期した。最終的には合宿して合議した場合もあった。

4. 研究成果

(1) 現時点で目に見える成果は、『第 1 巻』(知泉書館 2012) と『第 5 巻』(同 2013) のみである。しかし第 2 巻の準備はすでに整っており、その他の巻も 2 年以内に刊行予定である。

(2) これらの成果だけでも、デカルト哲学に新しい光を当てるに十分である。たとえば、そこでは永遠真理創造説や道徳説の具体的な展開、裁判に関連しての神学思想の表明などが顕在化している。また医学思想と哲学との

関わりなども確認された。これらは著作だけでは知りえない貴重な論点であり、精緻に分析検討することで新解釈につながるであろう。

(3) これらの研究成果の刊行は、国内で早速に反響を及ぼしている模様である。多くの哲学研究者から期待の声が届いているだけでなく、出版社に他分野の研究者からも問い合わせが来ていると聞いている。

(4) 翻訳作業の副産物として、個別の研究論文や図書が出たことも大きな成果である。たとえば、ベークマンやレギウスなどに関する諸論文 (雑誌論文⑤, ⑧, ⑩~⑬, ⑯)、ユトレヒト裁判に関する論文 (雑誌論文①) である。山田は書簡に関する論文などをまとめて一書とした (図書①)。

(5) 目に見えない成果としては、研究代表者が行った海外での研究発表・広報活動であろう。日本でこのような訳が出るのかと関心を呼んでおり、これによって本プロジェクトが世界に向けて周知されることになろう。

(6) 今後の展望としては、残された巻のすべてを出版して、初期の目的を達成することである。これによって、日本のデカルト研究の欠が埋められ、研究の躍進が大いに期待される。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 24 件)

- ① 倉田隆、ユトレヒト市参事会のデカルト召喚、島大言語文化、査読無、34 号、2013、1-19
- ② 小泉義之、精神と心理の統治、思想、査読無、1066 号、2013、58-76
- ③ 小泉義之、死に場所を探して、現代思想、査読無、40 号、2012、158-164
- ④ 鈴木泉、大地の動揺可能性と身体の基礎的構造—問いの素描、哲学、査読無、63 号、2012、49-57
- ⑤ 山田弘明、デカルトから某氏への書簡 (1641.8) 訳解、名古屋文理大学紀要、査読有、12 号、2012、57-65
- ⑥ 吉田健太郎、「思惟するもの」の实在について—デカルト「コギト・エルゴ・スム」再考—、愛知教育大学研究報告、査読有、61 号、29-37、2012、
- ⑦ 山田弘明、新発見のデカルト書簡、中部哲学会年報、査読有、43 号、2012、49-57
- ⑧ 山田弘明、某氏からデカルトへの書簡 (1641.7) 訳解、名古屋文理大学紀要、

- 査読有、11号、35-46、2011、
- ⑨ 吉田健太郎、作用原因としての自然法則—デカルト自然学における因果性についての考察—愛知教育大学研究報告、査読有、60号、65-73、2011
 - ⑩ 持田辰郎、1642年11月24日レギウスからデカルトに宛てられた書簡、名古屋学院大学論集(人文・自然科学篇)、査読有、48巻2号、125-130、2011
 - ⑪ 持田辰郎、1642年1月デカルトからレギウスに宛てられた書簡、名古屋学院大学論集(人文・自然科学篇)、査読有、47巻1号、61-69、2010
 - ⑫ 持田辰郎、1642年1月デカルトからデカルトに宛てられた書簡、名古屋学院大学論集(人文・自然科学篇)、査読有、46巻2号、63-79、査読有、2010
 - ⑬ 山田弘明、デカルト=バークマン往復書簡考・下、名古屋文理大学紀要、査読有、10号、63-78、2010
 - ⑭ 吉田健太郎、「私」の存在根拠—デカルト「第三省察」における神の第二存在証明の考察—、愛知教育大学研究報告、査読有、59号、55-63、2010
 - ⑮ クレール=フォヴェルグ、『百科全書』の哲学史関連諸項目に見るディドロのライブニッツ主義、ライブニッツ研究、査読有、1号、99-114、2010
 - ⑯ 山田弘明、デカルト=バークマン往復書簡考・上、名古屋文理大学紀要、査読有、9号、37-47、2009

〔学会発表〕(計16件)

- ① Hiroaki Yamada, La Correspondance de Descartes et son importance, Il Sessione del Corso Dottorale, 2012.10.23, Universita del Salento, Italia
- ② 小泉義之、自然力と労働力、ハイデガー・フォーラム、2012.9.15、東北大学
- ③ 鈴木泉、大地の動揺可能性と身体の基礎的構造—問いの素描、日本哲学会、2012.5.12、大阪大学
- ④ 山田弘明、新発見のデカルト書簡、中部哲学会、2011.10.2、名古屋文理大学
- ⑤ Claire Fauvergue, Nature et inquiétude dans les *Nouveaux Essais*, 2011.9.28、国際ライブニッツ会議、ハノーファー大学(ドイツ)

〔図書〕(計22件)

- ① 山田弘明、デカルトと西洋近世の哲学者たち、知泉書館、2013(印刷中)
- ② 持田辰郎(共訳)、デカルト全書簡集 第五巻、知泉書館、2013、311
- ③ 山田弘明(共著)、ライブニッツ読本、法政大学出版局、2012、196-207
- ④ 香川知晶(共著)、看護学生のための医療

倫理、丸善出版、2012、30-39、134-139など

- ⑤ 香川知晶(共著)、高校倫理からの哲学1 生きるとは、岩波書店、2012、159-162
- ⑥ 香川知晶(共著)、シリーズ生命倫理学 第1巻 生命倫理学の基本構図、丸善出版、2012、4-14
- ⑦ 小泉義之、生と死の哲学、青土社、2012、392
- ⑧ 山田弘明・吉田健太郎他訳、デカルト全書簡集 第一巻、知泉書館、2012、414
- ⑨ 香川知晶(共著)、「いのちの思想」を掘り起こす 生命倫理の再生に向けて、岩波書店、2011、193-237
- ⑩ 鈴木泉(共著)、西洋哲学史II 「知」の変貌・「信」の階梯、講談社、2011、7-32
- ⑪ 安藤正人、マルチレベルモデル入門—実習：継時データ分析、ナカニシヤ出版、2011、170
- ⑫ 香川知晶(共著)、いのちの選択—今、考えたい脳死・臓器移植—、岩波書店、2010、94-111
- ⑬ 鈴木泉(共著)、叢書 哲学への誘い—新しい形を求めて I 哲学の立ち位置、2010、250-281
- ⑭ 小泉義之、倫理学 ブックガイドシリーズ 基本の30冊、人文書院、2010、199
- ⑮ 小泉義之、デカルトの哲学、人文書院、2009、231

〔産業財産権〕

○出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

「日本語表記統一のための情報サイト」
<http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/psycho/index.php> ユーザー名：student パスワード：psycho [プラザの最新記事]にある人

名表記、地名表記、事項表記をクリック。

6. 研究組織

(1) 研究代表者

山田 弘明 (YAMADA HIROAKI)
名古屋文理大学・情報文化学部・教授
研究者番号: 40106258

(2) 研究分担者

吉田 健太郎 (YOSHIDA KENTARO)
愛知教育大学・教育学部・准教授
研究者番号: 00314063
持田 辰郎 (MOCHIDA TATSURO)
名古屋学院大学・リハビリテーション学
部・教授
研究者番号 30200330
小泉 義之 (KOIZUMI YOSHIYUKI)
立命館大学・先端総合学術研究科・教授
研究者番号 10225352
香川 知晶 (KAGAWA CHIAKI)
山梨大学・医学工学総合研究部・教授
研究者番号 70224342
鈴木 泉 (SUZUKI IZUMI)
東京大学人文社会系研究科・准教授
研究者番号 50235933
倉田 隆 (KURATA TAKASHI)
島根大学・法文学部・教授
研究者番号 30242994
武藤 整司 (MUTO SEIJI)
高知大学・教育研究部・教授
研究者番号 50243811
安藤 正人 (ANDO MASATO)
川崎医療福祉大学・医療福祉学部・教授
研究者番号 50232103
クレール フォヴェルグ (FAUVERGUE
CLAIRE) =2010-11年度のみ
名古屋大学・文学研究科・(元) 准教授
研究者番号 50584869

(3) 連携研究者 なし

(4) 研究協力者

三浦 伸夫 (MIURA NOBUO)
神戸大学・国際文化学研究科・教授
研究者番号 20219588
山上 浩嗣 (YAMAJO HIROTSUGU)
大阪大学・文学研究科・准教授
研究者番号 40313176
東 慎一郎 (HIGASHI SHINICHIRO)
東海大学・総合教育センター・准教授
研究者番号 10366065
武田 裕紀 (TAKEDA HIROKI)
追手門学院大学・基盤教育機構・准教授
研究者番号 50351721
津崎 良典 (TSUZAKI YOSHINORI)
筑波大学・人文社会系・助教

研究者番号 10624661
岩佐 宣明 (IWASA NOBUAKI)
愛知学院大学・教養部・専任講師
研究者番号 00534356
曾我 千亜紀 (SOGA CHIAKI)
大阪産業大学・人間環境学部・准教授
研究者番号 50708310
久保田 進一 (KUBOTA SHINICHI)
金沢大学・大学教育開発・支援センター・
特任助教
研究者番号 60710267
小沢 明也 (OZAWA TOSHIYA)
東洋大学・文学部・非常勤講師
中澤 聡 (NAKAZAWA SATOSHI)
東京大学・総合文化研究科・特任研究員
研究者番号
長谷川 暁人 (HASEGAWA AKITO)
名古屋大学・文学研究科・博士研究員
稲垣 恵一 (INAGAKI KEIICHI)
名古屋大学・文学研究科・事務補佐員
政井 啓子 (MASAI KEIKO)
法政大学・文学部・非常勤講師
大西 克智 (ONISHI YOSHITOMO)
東京藝大・非常勤講師
古田 知章 (FURUTA TOMOAKI)
青山学院大学・非常勤講師
平松 希伊子 (HIRAMATSU KIIKO)
日仏哲学会会員
野々村 梓 (NONOMURA AZUSA)
大阪大学・文学研究科・助教
安西 なつめ (ANZAI NATSUME)
順天堂大学・医学部・大学院生
(順、不同)